

教科名	科 目 名	学科・学年・類型	単位数
数 学	数学セミナー	普通科 第3学年 選択	3 単位
準教科書	最新数学 I（数研出版）		
副教材等	Study-Upノート数学 I（数研出版）		

1 科目の目標

数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高めるとともに、テーマに沿った課題を多様な視点から考察することをおして、数学を積極的に活用して、主体的に判断し、行動する態度を育成する。

2 科目の内容

- (1) 既習事項の再確認
- (2) 「総合問題」「就職模試」などの実践的な内容の学習
- (3) 条件変更時の考察をとおした問題探究
- (4) 適切なテーマによる課題学習

3 授業計画（配当時間は55分授業の回数）

月	内 容	配当時間	指導上の留意点
4 月	○数と式 (数の計算、整式、乗法公式・因数分解)	4	・基礎的な事項の知識・理解を確認し、課題学習に必要な数学的な技能、特に計算技能の向上を図る。
	○実数（無理数）	2	
5 月	○方程式 (1次方程式、連立方程式、2次方程式)	4	
	○不等式（1次不等式、2次不等式）	4	
6 月	〈1学期中間考査〉	1	・数と式などに関連する課題を設定し、数学への興味・関心を高め、数学的な考え方の良さを体験させる学習活動を行う。 ・基礎的な事項の知識・理解を確認し、課題学習に必要な数学的な技能の向上を図る。
	○課題学習 数と式に関する課題学習	4	
	○関数とグラフ（2次関数のグラフ）	5	
	○2次関数 (2次関数の最大・最小、2次関数の決定)	5	
7 月	〈1学期期末考査〉	1	(計30)
7 月	○課題学習 方程式・不等式、2次関数を利用した種々の総合問題を考察	6	・他の単元との関連について考え、様々な別解を考えることで総合的かつ多角的に問題を扱う。 ・基礎的な事項の知識・理解を確認し、課題学習に必要な数学的な技能の
8 月			
9 月	○三角比（三角比の相互関係、正弦定理、余弦定理、図形の計量）	8	

10月	〈2学期中間考査〉	1	向上を図る。
	○課題学習 三角比についての課題学習	4	
11月	○データの分析	8	・基礎的な事項の知識・理解を確認し、課題学習に必要な数学的な技能の向上を図る。
	○集合と命題	6	
	○課題学習 データの分析、集合と命題についての課題学習	5	・自然現象などに関連する課題を設定し、数学と実生活との関連を体験させる学習活動を行う。
12月	〈2学期期末考査〉	1 (計39)	
12月	○課題学習 数学Ⅰに関する探究的な課題学習	26	・社会現象、自然現象などに関連する課題を設定し、数学と実生活との関連を体験させる学習活動を行う。
1月			
2月		1 (計27)	
3月	〈学年末考査〉	合計 96	

4 評価規準と評価方法

	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
評価の観点・規準	<ul style="list-style-type: none"> 習得した知識や技能を活用し、探究しようとしているか。 数学的論拠に基づいて判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を多様な単元や分野と関連させ、総合的に事象を捉え、多面的に考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 事象を数学的に考察できているか。 数学的に表現し処理する仕方を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学における概念や原理・法則、用語や記号などが体系的に理解できている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への参加状況 発表内容 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 質問に対する発言や発表の内容 プリントや課題の解法 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 質問に対する発言や発表の内容 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 質問に対する発言や発表の内容 授業中の確認テスト

5 担当者から一言

1学年で学習した内容の総復習です。問題を繰り返し解くことにより、基本的な知識をしっかりと理解し、さらに応用へと発展できるようになります。分からないことは、質問して解決しましょう。